第１００回知的財産問題研究会（IP 部会）　記念講演会

講演名：これってパクリじゃないですよ

日時：2023 年 11 月１０日（金）14：00～17：00

場所：グランドホテル浜松 孔雀の間

講師：弁理士 西野 卓嗣（西野特許事務所・サンクレスト国際特許事務所顧問）

日本テレビ系列でテレビドラマ化された「それってパクリじゃないですか？」の監修をされた弁理士の西野卓嗣様を講師にお迎えし、第１００回の記念講演会を開催しました。

ＩＰ部会のこれまでの歴史を踏まえた神谷部会長の開会の挨拶に始まり、西野先生からは、①ドラマの監修ものがたりと、企業内弁理士としてご活躍された経験を基にした②現実の「それパク」の２部構成でご講演いただきました。

①ドラマ「それパク」監修ものがたり

監修を始めるきっかけから、生田スタジオの訪問、法廷のロケ、ドラマの第１話から第１０話（最終話）の裏話を含めたお話しをしていただきました。なかでも、なじみのよい「特許申請」という用語を、正確な「特許出願」という用語とするか否か、に代表されるように、「正確性」と「なじみよさ」とのはざまでの大変なご苦労がよく分かりました。これも、知的財産の仕事の内容を少しでも多くの人に知ってもらいたい、という西野先生の情熱からくるものだと強く感じました。また、俳優さんたちとのエピソードなど、ユーモアを交えたドラマならではの楽しいお話しもあり、皆さん興味深く聞き入っていた姿が印象的でした。

②現実の「それパク」

第２部では打って変わって、企業内弁理士時代における、権利行使や、特許権の侵害訴訟での原告側、被告側それぞれのご経験を紹介いただきました。なかには、“ここだけの話･･･”といったような“きわどい”お話しも交えられ、『攻め』と『守り』について、参加された方には大変参考になったと思います。

また、質疑応答の際には、相手方との交渉はケースバイケース、毎回毎回一生懸命考える（考えついちゃった）といったお話しや、コンペティターの製品と自社の特許をよく知っているのが強い知財部といったようなお話しもあり、西野先生がこれまで情熱を持って企業の知財を支えられてきた真摯な姿勢が感じられました。

監修された西野先生からドラマのお話しを直接聞くことができ、また、知財紛争の大変貴重なご経験もお聞きできました。ＩＰ部会史上最多の８０名余りの方にご参加いただき、参加者大満足の、第１００回の記念講演に相応しい大変有意義な講演会であったと思います。

～委員代表～